

平成30年7月豪雨災害に係る住民説明会【本郷地区】 質疑応答の概要

日時：平成30年9月14日（金） 19時～21時

場所：本郷小学校 屋内運動場

発言順	質問	発言者	回答・発言要旨	備考
1	ダム放流について、以前は1次放流と2次放流と2回サイレンを鳴らしていた。今回はなぜ鳴らせなかったのか。	県	今のルールでは、まずダム放流を始めるときに鳴らせる。その次は異常洪水時防災操作による緊急放流を行う前に、水位が急激に上昇することでサイレンを鳴らすが、今回は緊急放流する一歩手前で回避することができたので鳴らしていない。 今後のあり方は検討していく。	
	田畑に流れ込んだ土砂撤去をどうしたらよいか。	市	国の査定を受けてからの工事着手になる。ただ、早急に撤去したいと思っている。箇所数が多いので大規模なところから進めていくなどになると思うが、このまま放置することはない。	
	放置する事はないとの事だが、査定まで待っていたらよいか。	市	今後の農業の計画もあるので、すでに自費で撤去された方にも市で何らかの対応をしていきたい。	
2	本郷第1雨水ポンプ場、第2雨水ポンプ場の自家発電が燃料切れで稼働しなかったと言う話の真偽は。	市	両ポンプ場とも燃料切れはおきておらず、フル稼働していた。 仏通寺川の決壊により、ポンプ場が浸水し、ポンプへの燃料輸送ができなくなった。そこで、タンクローリーを準備して24時間体制で燃料を送っていた。	
	本郷第2ポンプ場は365日ずっと稼働しているか。水量を検知して自動で稼働するのか。	市	本郷第2ポンプ場は無人で動いている。停電になると自家発に切り替わる。 水位が一定以上になると、2台目3台目とポンプが動き、最終的には3台同時にポンプが回る。 また、故障があると、職員の元へ故障通報が入ってくる。	
	3台のポンプがフル稼働すれば、沼田川の水位が一杯でも、水は沼田川に排水されるのか。 異常なゲリラ豪雨でなければ対応できると考えていいか。 燃料切れが起きることはないか。	市	ゲリラ豪雨とはそもそも異常な雨量なので全てに対応できるとはなかなか言えないが、川が決壊するレベルの雨でなければ、対応できると考えてよい。 燃料切れというのはないと考えてもらってよい。	

3	2年前に本郷に引っ越してきたが、浸水区域だということについて、購入時に市職員は説明をしているのか。	市	東本通の土地販売について、河川氾濫の説明というのは行っていない。宅建業法でも、重要説明事項で、土砂災害特別警戒区域などの情報提供はしているが、河川氾濫は想定もしておらず、説明はしていません。 今後の販売時の説明については、検討していく。	
4	都市計画課に苦情を言った際に、上司に報告するように言ったが、報告は受けているか。 土地のかさ上げを検討しなかったのか。 地元外から来た人はこの地域が浸水しやすいと言うことは分からない。説明が不足していたのではないか。	市	承っています。 区画整理は、同じ地域内で搬出された土砂を用いて宅地を整備するものであるため、ほかの場所から土を流入して整備する事はしていない。 その代わり、雨水を排出できるようにポンプ場の整備をしたが、河川の氾濫に対応できるポンプは整備していなかった。	
	災害見舞金について、一軒家とアパートに住んでいる人が同じというのは理解ができないが、どう考えているか。	市	災害見舞金の支給は、り災証明の区分に応じて決まっているため、一軒家とアパートの方で見舞金の区分はありません。 また、生活再建支援金の制度もあるので、ご案内します。	
5	生活再建支援金、加算金の100万円は本当に出るのか。	市	広報みはら9月号でも案内をしています。加算支援金は補修や建設などの状況に応じて200万円～50万円の支援金があります。	
6	家の補修をしているが、大工や建築会社に聞くと、申請しても支援金が出ないという話を聞く。 台所は出るけど、客間は出ないというのがあると思うが、そのあたりの条件を詳しく聞かせて欲しい。	市	応急修繕の話だと思いますが、床上浸水以上の被害を受けた方が対象で、とりあえず修繕して家に戻りたい方に対して58万4,000円を上限としている。 台所やトイレなどが対象のため、2階や離れは修繕の対象ではありません。	
7	58万4,000円というのあまり表に出ていないように感じる。2ヶ月经過しているので、応急的な修繕はすでに行っている人が多いが、書類等詳しい話を聞かせて欲しい。	市	半壊以上の被害を受け、自らの資力で応急修理できない方が対象ではあるが、説明が複雑になる可能性もあり、個別に相談をしていただきたい。	
8	地元の人は、停電後第2ポンプが作動していないという認識を持っているがどうか。 管理会社に委託しているか。 止まっていた事はなかったか。	市	停電後も自家発電に切り替わり、通常は自動運転をしています。管理はメンテナンス会社が管理しており、トラブルが発生すると、管理会社と職員に情報が入ってきます。 ポンプは常に稼働しており、停電時も止まっていませんでした。	

9	ポンプ場に来た人（職員か委託業者かは不明）が遅かった。水圧でドアが開かない状況なのでバールでこじあけたという話も聞いた。すぐ駆けつけるようなシステムを作ってほしい。	市	ポンプは稼動しており燃料切れも起こしていない。 ポンプ場は2階から入れたので、バールでこじ開けた事もない。 限られた職員数で市内 25 ヶ所のポンプ場の状況を確認しながら職員が来ている。	
10	ダム放水の管理、タイミングをもう少ししっかりして欲しい。 都市計画やポンプの管理など市の体制を強化して欲しい。			
11	仏通寺川の河崎（コウサキ）橋のところは大変浅い。川底は掘ってもらえるのか。 いつぐらいになるのか。	県	現在、沼田川の堆積土と樹木撤去を緊急的に対応している。今回、沼田川の水位が高かったことにより、他の川の水位が上昇し堤防が決壊した。まずは沼田川の水位を下げるのが一番効果的と考えている。 本川が終わり次第、支川の堆積土の除去をしていきたい。 来年の6月ごろまでには対応したい。	
12	天災ではない、人災だ。十何年も前から指摘していた。少しずつでも対応していたら、ここまで被害は大きくなっていないと思う。 堆積土の撤去作業に伴い、県外のダンプが多い。ただ、県外のダンプはマナーがいいが、福山ナンバーのマナーが悪い。	県	今、沼田川を全力でしゅんせつしている。浸水被害の原因については、有識者による検討会で検討していく。 ご意見、ご指摘があれば真摯に対応していく。	
	停電になる前に、市は告知放送で放流したと、ダムは関係機関には連絡したとあったが、市の広報車を使うなどあるものを活用して少しでも早く情報提供をしてほしい。	市	従前の告知放送のルールだと、夜分には放送では行わないとしていたが、今後は避難情報の出し方を検討していく。 身に迫る危険を具体的に示した避難情報が出せるように検討していく。	

	今後建設予定の駅前の図書館・ホテルは不要ではないかと思う。本郷や三原の図書館も十分使えると思う。今から何が起きるか分からないので、財源の確保をしっかりと欲したい。	市	災害からの復旧・復興に必要な人員や予算を重点的に充てていくのは当然必要だと考えている。駅前東館跡地活用事業のうち図書館は市の公共事業だが、ホテル、商業棟は民間事業であり、官民協働の事業です。この事業は中心市街地活性化の実現をしていくために重要な位置づけになる取組みのため事業を停滞させることなく、災害対策と並行させながら引き続き取り組んでいきます。	
	三原市が見舞金を出すのは床上浸水1万円と床下浸水5千円だと思う。全壊、半壊等には三原市は出さないと聞いているが、財源がないからではないか。	市	現在、市の見舞金を半壊以上の方に出せるよう検討している。議会等の一定手続きを経る必要があるため、もうしばらくお待ちください。	
	最終処分場の件について。	市	別の場で協議を。	
1 3	沼田川土手、仏通寺川土手の土場を石垣・コンクリでしてほしい。		要望のみ。	
1 4	東北地方に作られた数十メートルの堤防を視察に行ってほしい。本郷町、広島県のために新しい血を流して欲しい。		要望のみ	
1 5	河川の復旧計画の計画図を見たい。優先順位がどうなっているのか。	県	有識者による検討委員会をたち上げて検討しているところ。原因を究明して復旧をしていきたい。	
1 6	河川のしゅんせつ工事、徹底的にやっていただきたい。	県	沼田川しゅんせつ後、支川も取り組んでいこうと思っている。	
1 7	人命と財産を守らなければならないことをしっかり胸に入れて、十分にメカニズムを研究してください。	県	有識者による検討委員会を立ち上げて検討しているところである。原因を究明して復旧をしていきたい。	